

問題 1 次のうち、**誤っているもの**はどれか。

- 1 交感神経の興奮によって、心拍数は増加する。
- 2 心電図のQRS波は、心室の興奮に対応している。
- 3 特殊心筋線維は、刺激生成や興奮の伝播を担う。
- 4 洞房結節から出た電気信号は、ヒス束を通過して房室結節に集まる。

問題 2 次のうち、**正しいもの**はどれか。

- 1 誤飲した異物は、右肺に入りやすい。
- 2 左右の肺は、それぞれ3葉からなる。
- 3 過換気によって、呼吸性アシドーシスになる。
- 4 努力性呼出によって、肺残気量は0となる。

問題 3 次の組み合わせとして、**誤っているもの**はどれか。

- | | | | |
|---|---------|----|----------|
| 1 | アルブミン | —— | 血漿浸透圧の維持 |
| 2 | プラスミン | —— | 物質の運搬 |
| 3 | グロブリン | —— | 生体防御（免疫） |
| 4 | フィブリノゲン | —— | 血液凝固 |

問題 4 眼球運動に直接関与する脳神経として、**誤っているもの**はどれか。

- 1 視神経
- 2 動眼神経
- 3 滑車神経
- 4 外転神経

問題 5 呼吸中枢の部位として、**正しいもの**はどれか。

- 1 視床下部
- 2 中脳
- 3 橋
- 4 延髄

問題 6 甲状腺に関するホルモンについて、**誤っているもの**はどれか。

- 1 甲状腺刺激ホルモンは、下垂体から分泌される。
- 2 甲状腺ホルモンは、代謝を低下させる。
- 3 甲状腺ホルモンが欠乏すると、成人では粘液水腫になる。
- 4 甲状腺ホルモンが過剰になると、バセドウ病（グレーブス病）になる。

問題 7 膵臓のホルモンについて、**誤っているもの**はどれか。

- 1 インスリンは、膵島のA細胞から分泌される。
- 2 ソマトスタチンは、インスリンとグルカゴンの分泌を抑制する。
- 3 グルカゴンは、肝臓でのグリコーゲンの分解を促進する。
- 4 グルカゴンは、血糖を上昇させる作用をもつ。

問題 8 歯について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 歯冠は、歯肉から外に突出した部分である。
- 2 セメント質は、歯根の表層にある。
- 3 乳歯は、24本ある。
- 4 永久歯は、32本ある。

問題 9 腎臓の解剖について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 腎臓は、左右1対ある。
- 2 腎門には、腎動静脈と尿管が出入りしている。
- 3 糸球体は、髄質に存在する。
- 4 ネフロンは、腎小体と尿細管からなる。

問題 10 必須アミノ酸として、**誤っているもの**はどれか。

- 1 ロイシン
- 2 トリプトファン
- 3 スレオニン
- 4 ペプシン

問題 11 次のうち、**正しいもの**はどれか。

- 1 三大栄養素は、糖質・脂質・ビタミンである。
- 2 糖質は、エネルギー源として、1gで約4kcalのエネルギーを発生する。
- 3 成人男子の体重の約30%は、水分である。
- 4 リノール酸は、飽和脂肪酸である。

問題 12 ビタミンについて、**誤っているもの**はどれか。

- 1 生活機能を円滑に進めていくために、大切な有機化合物である。
- 2 脂溶性ビタミンと水溶性ビタミンに2大別される。
- 3 ビタミンAが欠乏すると、壊血病になる。
- 4 ビタミンB₁は、エネルギー代謝や糖質代謝の補酵素としてはたらく。

問題 13 次のうち、正しいものはどれか。

- 1 ワルファリンのおもな作用は、血液凝固を阻止することである。
- 2 ビタミンAは、水溶性ビタミンである。
- 3 クロルヘキシジジングルコン酸塩は、ウイルスに有効である。
- 4 メタンフェタミンは、麻薬に指定されている。

問題 14 抗感染症薬について、正しいものはどれか。

- 1 ザナミビルは、B型インフルエンザのみに有効である。
- 2 リファンピシン服用中は、尿や唾液が黒っぽくなることがある。
- 3 バンコマイシンは、グラム陰性菌にすぐれた抗菌力を有する。
- 4 ペニシリンGは、レンサ球菌・肺炎球菌にすぐれた抗菌力を有する。

問題 15 次のうち、正しいものはどれか。

- 1 抗ヒスタミン薬は、アレルギー反応に関与するヒスタミンH₂受容体拮抗薬のことである。
- 2 安全域（治療係数）は、LD₅₀/ED₅₀で算出される。
- 3 口腔粘膜から吸収される舌下錠は、すべて肝臓を通過して作用を発揮する。
- 4 リドカインは、皮膚や粘膜の消毒に使用される。

問題 16 先天異常について、正しいものはどれか。

- 1 先天異常の原因は、環境要因が最も多い。
- 2 受精後3か月までの器官形成期は、外界からの影響を最も受けやすい。
- 3 先天性風疹症候群は、妊娠6か月以降の母親が風疹にかかることによっておこる。
- 4 マルフアン症候群は、常染色体の劣性遺伝による遺伝子病である。

問題 17 炎症の徴候として、**誤っているもの**はどれか。

- 1 蒼白
- 2 発熱
- 3 疼痛
- 4 腫脹

問題 18 虚血性心疾患の危険因子として、**誤っているもの**はどれか。

- 1 高血圧
- 2 喫煙
- 3 糖尿病
- 4 胃潰瘍

問題 19 肝細胞癌の原因として、**誤っているもの**はどれか。

- 1 A型肝炎ウイルス
- 2 B型肝炎ウイルス
- 3 C型肝炎ウイルス
- 4 アルコール

問題 20 運動器疾患について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 骨肉腫は、骨に発生する悪性腫瘍である。
- 2 骨粗鬆症では、骨の石灰化が障害される。
- 3 変形性関節症では、関節軟骨の変性が生じる。
- 4 多発性筋炎では、悪性腫瘍を合併することが多い。

問題 21 次の組み合わせとして、**誤っているもの**はどれか。

- | | | | |
|---|---------------|----|------------|
| 1 | 脳ヘルニア | —— | 頭蓋内圧亢進 |
| 2 | 脳内出血 | —— | 脳動静脈奇形 |
| 3 | アルツハイマー病 | —— | 脳幹の変性 |
| 4 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | —— | 異常なプリオンの蓄積 |

問題 22 空気感染する病原体として、**正しいもの**はどれか。

- 1 麻疹ウイルス
- 2 百日咳菌
- 3 破傷風菌
- 4 E型肝炎ウイルス

問題 23 次の組み合わせとして、**誤っているもの**はどれか。

- | | | | |
|---|-------------|----|--------|
| 1 | 腸管出血性大腸菌 | —— | 慢性肝炎 |
| 2 | ヘリコバクター・ピロリ | —— | 胃炎 |
| 3 | ポリオウイルス | —— | 急性灰白髄炎 |
| 4 | ノロウイルス | —— | 感染性胃腸炎 |

問題 24 感染と予防について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 クリプトスポリジウムは、飲料水を介して感染する。
- 2 ボツリヌス菌は、感染型食中毒をおこす。
- 3 ニューモシスチス・イロベチー（カリニ）は、通常免疫が低下した状態で感染する。
- 4 次亜塩素酸ナトリウムは、B型肝炎ウイルスの消毒に有効である。

問題 25 「看護師の倫理綱領（日本看護協会 2003 年）」の内容について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 対象となる人々に平等に看護を提供する。
- 2 守秘義務はいかなる場合も遵守し、情報共有はおこなうべきではない。
- 3 専門的知識・技術の創造と開発に努め、看護学の発展に寄与する。
- 4 環境の問題について、社会と責任を共有する。

問題 26 次のうち、**正しいもの**はどれか。

- 1 米国でのカレン（カレン・アン・クインラン）裁判が、尊厳死の考え方に大きな影響を与えた。
- 2 ターミナル期（ターミナルステージ）の緩和ケアは、無効である。
- 3 日本では、リビングウィルが法制化している。
- 4 レシピエントとは、臓器提供者のことである。

問題 27 慢性期疾患患者の心理について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 肯定的あるいは楽天的思考（ポジティブ思考）は、病気の過程に影響を及ぼす。
- 2 療養の長期化によって、サポートネットワークなどが重要になる。
- 3 病気をどのように認知するかが、QOL（quality of life）維持のポイントになる。
- 4 すべての患者は、病態の安定期を迎えると、心理的葛藤が消失する。

問題 28 ライフサイクルにおける心理について、**正しいもの**はどれか。

- 1 分離不安は、思春期の特徴である。
- 2 妊娠中期には、うつ状態が発症しやすい。
- 3 燃え尽き症候群は、成人期にみられることが多い。
- 4 空の巣症候群は、後期高齢者の特徴である。

問題 29 患者の心理状態の理解に有用なエリクソンの理論として、**正しいもの**はどれか。

- 1 発達理論
- 2 精神分析理論
- 3 適応理論
- 4 相互作用理論

問題 30 社会福祉六法として、**誤っているもの**はどれか。

- 1 母子及び寡婦福祉法
- 2 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律
- 3 身体障害者福祉法
- 4 生活保護法

問題 31 医療法で定められている医療施設の定義について、**正しいもの**はどれか。

- 1 診療所は、10 人以下の患者を入院させるための施設を有する。
- 2 病院は、20 人以上の患者を入院させるための施設を有する。
- 3 特定機能病院は、200 人以上の患者を入院させるための施設を有する。
- 4 地域医療支援病院は、400 人以上の患者を入院させるための施設を有する。

問題 32 保健師助産師看護師法について、**正しいもの**はどれか。

- 1 准看護師資格が誕生した時の資格要件は、乙種看護婦と同様であった。
- 2 准看護師には、免許を与えることができない絶対的欠格事由がある。
- 3 准看護師は、免許を受けた後も、臨床研修などの受講の努力義務がある。
- 4 准看護師は、毎年、業務従事者届を届け出る義務がある。

問題 33 労働に関する法律について、**正しいもの**はどれか。

- 1 労働安全衛生法は、労働者として守られるべき最低の労働条件を定めたものである。
- 2 労働時間は、原則として休憩時間を含め、1週間について40時間を超えてはならない。
- 3 休憩は、労働時間が8時間を超える場合、少なくとも1時間与えなければならない。
- 4 休日は、毎週少なくとも2回与えなければならない。

問題 34 次の組み合わせとして、**正しいもの**はどれか。

- 1 アーユルヴェーダ — 古代エジプトの医療や看護の規定
- 2 ヒュギエイア — 衛生学の語源
- 3 バラモン — 黄帝内経
- 4 ガレノス — 解体新書

問題 35 看護の対象である人間について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 スキャモンによると、成長発達の過程で器官系によって発達の速度が異なる。
- 2 人間にはライフサイクルがあるため、各段階の発達課題を理解する必要がある。
- 3 基本的ニードを5つの階層であらわしたのは、ヘンダーソンである。
- 4 人間は「生理的早産児」の状態で誕生するため、環境の影響を受けやすい。

問題 36 次のうち、**正しいもの**はどれか。

- 1 フローレンス・ナイチンゲールは、人間の適応の4段階について述べた。
- 2 アルマアタ宣言で、包括的看護の考え方が示された。
- 3 准看護師は、看護師の指導の下であっても、患者の健康教育はおこなえない。
- 4 重大な事故に発展したかもしれないが、発見防止できた危険な出来事をインシデントと表現することがある。

問題 37 健康の概念について、**正しいもの**はいくつあるか。

- A 疾病の二次予防とは、早期発見・早期治療である。
- B 日本国憲法では、健康を国民の権利として保障している。
- C 国際生活機能分類（ICF）は、健康状態を生活機能という視点から分類した。
- D 健康な状態から病気、死に至る変化の過程は連続している。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問題 38 日本における近代看護について、**正しいもの**はどれか。

- 1 最初の職業としての看護師は、西南戦争で活躍した。
- 2 日本赤十字社が国際的救護活動をおこなうようになったのは、第2次世界大戦以降である。
- 3 最初の看護師養成は、1885（明治18）年に京都看病婦学校で開始された。
- 4 看護師に関する最初の国家的統一規則は、1915（大正4）年の「看護婦規則」である。

問題 39 1日の体温差が1℃以上で、平熱にならない熱として、**正しいもの**はどれか。

- 1 稽留熱
- 2 弛張熱
- 3 間欠熱
- 4 中等熱

問題 40 カウプ指数の説明について、**正しいもの**はどれか。

- 1 おもに乳幼児期に用いる。
- 2 体重(kg)/身長(m)²で算出する。
- 3 15以上20未満が正常である。
- 4 単位は%であらわす。

問題 41 脈拍の触れやすい部位として、**正しいもの**はどれか。

- 1 尺骨動脈
- 2 上腕動脈
- 3 内頸動脈
- 4 腋窩動脈

問題 42 看護過程におけるアセスメントについて、**誤っているもの**はどれか。

- 1 看護問題を整理する方法として、図式化（関連図）がある。
- 2 対象者の問題点を系統的に把握し、査定あるいは評価することである。
- 3 アセスメントのための情報収集は、まず対象者自身から得ることが重要である。
- 4 北米看護診断協会（NANDA）は、適応様式別モデルを用いて分析している。

問題 43 看護における報告について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 ケアの妥当性を話し合う機会となる。
- 2 時期を逃さないことが大切である。
- 3 緊急報告と指示事項に関する報告の2種類に分類できる。
- 4 要点を押さえ簡潔・明瞭におこなう。

問題 44 災害看護について、**正しいもの**はどれか。

- 1 災害の分類として、自然災害には化学爆発・大都市災害が含まれる。
- 2 医療チームと協力し、支援をおこなう。
- 3 治療の優先順位を5段階に分類することをトリアージという。
- 4 日本では、災害発生時の救助活動体制を整備しているのは、日本赤十字社だけである。

問題 45 診療録について、**正しいもの**はどれか。

- 1 保存期間は、3年である。
- 2 電子媒体による保存は、認められていない。
- 3 情報開示の方法は、閲覧のみである。
- 4 訂正するときは、訂正前の字句が読めるよう2本線を引き、署名などをおこなう。

問題 46 速乾性すり込み式手指消毒法について、**正しいもの**はどれか。

- 1 指先が濡れる程度の量で効果がある。
- 2 手指消毒薬のすり込み後、ペーパータオルで拭く。
- 3 目で見える汚れが付着していても、消毒効果は変わらない。
- 4 衛生的手洗い同様、親指などにも十分すり込む。

問題 47 室内環境の調整について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 病室の照明基準は、20～40ルクスである。
- 2 病室の夏期の至適湿度は、45～65%である。
- 3 騒音は、健康に影響を及ぼすことがある。
- 4 中間色や淡い色調は、患者に安らぎを与える。

問題 48 ボディメカニクスについて、**誤っているもの**はどれか。

- 1 ゴム底の靴を履くと地面との摩擦力が小さくなり、負担が少なくなる。
- 2 支持基底面を広くする。
- 3 できるだけ対象者に近づいて作業をすると、負担が少なくなる。
- 4 作業する人の重心の位置と作業面の高さが一致していることが望ましい。

問題 49 事故防止について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 医療者が注意義務を怠り過失をおこして患者に損害を与えることは、医療過誤と判断される。
- 2 地震発生時の避難誘導時には、エレベーターを使用しない。
- 3 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律において、身体拘束が禁止された。
- 4 患者誤認が重大な事故につながることを認識し、確認作業を徹底する。

問題 50 褥瘡の予防について、**正しいもの**はどれか。

- 1 ベッドをギャッチアップする場合は、45度以上にする。
- 2 側臥位にする場合は、30度にする。
- 3 皮膚は、湿潤状態を保つ。
- 4 圧迫しても退色しない発赤部は、マッサージをおこなう。

問題 51 食事介助について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 食事摂取行動の自立の程度を細かく評価する。
- 2 はしやスプーンは、斜め横から水平に運ぶ。
- 3 視力障害がある患者の場合は、食事内容を具体的に説明する。
- 4 片麻痺のある患者のベッド上での介助では、健側がやや上になるように小まくらを使用する。

問題 52 全身清拭の順序として、**正しいもの**はどれか。

- 1 顔 → 頸部・胸部 → 上肢 → 腹部 → 背部・殿部 → 下肢
- 2 頸部・胸部 → 顔 → 上肢 → 腹部 → 下肢 → 背部・殿部
- 3 顔 → 上肢 → 頸部・胸部 → 腹部 → 下肢 → 背部・殿部
- 4 頸部・胸部 → 上肢 → 顔 → 腹部 → 背部・殿部 → 下肢

問題 53 排泄の援助について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 便秘時は、腹部・腰部に温罨法をおこなう。
- 2 便秘時は、適度な運動や散歩をすすめる。
- 3 下痢時は、できるだけ水分をひかえる。
- 4 下痢時は、陰部の清潔を保持する。

問題 54 診察時の援助について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 衣服を脱ぐ必要があるときには、バスタオルなどで覆う。
- 2 腹部の触診は、仰臥位で膝を立てておこなう。
- 3 診察室の温度・採光を調節する。
- 4 背部の診察は、砕石位でおこなう。

問題 55 検査時の注意点について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 MRI室には、金属類の持ち込みはしない。
- 2 造影剤を用いる検査の場合、原則として前日の夕食以降は絶飲食とする。
- 3 ヨード系造影剤で、アレルギー反応がおこることがある。
- 4 バリウムによる造影検査では、検査後に十分な水分摂取をすすめる。

問題 56 検査について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 尿の試験紙法では、尿糖・尿たんぱくなどが測定できる。
- 2 真空採血管による採血では、直接血液に触れる危険性は少ない。
- 3 無菌尿とは、24時間尿（蓄尿）より採尿することである。
- 4 検体は、基本的に規定量を採取する。

問題 57 与薬について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 経口的与薬は、意識のない患者には与えない。
- 2 筋肉内注射の針は、約10度の角度をつけて刺入する。
- 3 坐薬の挿入時は、腹部に力を入れず、口で呼吸するよう説明する。
- 4 点滴静脈内注射は、少量ずつ持続的に注入が可能である。

問題 58 輸血について、**正しいもの**はどれか。

- 1 輸血後移植片対宿主症（GVHD）は、重篤な副作用である。
- 2 Rh(-)の人は、Rh(+)の人から輸血を受けることができる。
- 3 人全血液の有効期間は、採血後28日間である。
- 4 人全血液は、0℃以下で保存する。

問題 59 静脈内注射について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 患者名・薬物名・量・経路・時間を確認する。
- 2 薬剤を間違えないように、薬のラベルを1回で確認する習慣をつける。
- 3 同一部位への注射回数は、できるだけ避ける。
- 4 駆血帯は、血管内に針が入ったことを確かめた後、静かにゆるめる。

問題 60 鎖骨下静脈からの中心静脈栄養法について、**正しいもの**はどれか。

- 1 カテーテル挿入時は、患者をファーラー位にする。
- 2 感染予防のために、毎日刺入部の消毒をおこなう。
- 3 カテーテル留置中の排尿は、ベッド上でおこなう。
- 4 カテーテル挿入後は、胸部X線撮影で確認をおこなう。

問題 61 成人の導尿について、**正しいもの**はどれか。

- 1 ディスポーザブルカテーテルは、6～7Frを用いる。
- 2 女性の尿道口の消毒は、後ろから前におこなう。
- 3 男性の場合、カテーテルの挿入の長さは約10cmとする。
- 4 女性の場合、カテーテルの挿入の長さは4～6cmとする。

問題 62 経鼻的経管栄養法について、**正しいもの**はどれか。

- 1 チューブが入りやすいよう、水平仰臥位にする。
- 2 挿入する長さは、鼻孔から耳介と耳介から剣状突起までを足した長さを目安とする。
- 3 チューブ挿入時、チューブの先端に油性の潤滑剤を塗る。
- 4 むせたり咳嗽がおきた場合は、観察をおこないながら注入を続ける。

問題 63 酸素吸入について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 酸素流量は、少量ずつ上げ指示された流量にする。
- 2 加湿器には、滅菌精製水・滅菌蒸留水を用いる。
- 3 8～10 L/分の酸素流量には、鼻腔カニューレが適している。
- 4 鼻腔カニューレを使用している時は、鼻で吸気をおこなうよう指導する。

問題 64 薬液噴霧吸入について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 ネブライザーは、薬液の液面を水平に保つ。
- 2 ネブライザー吸入中は、ゆっくり深い呼吸をするよう指導する。
- 3 吸入終了後ネブライザーは、煮沸消毒する。
- 4 超音波ネブライザーの粒子は、肺胞まで達する。

問題 65 胃洗浄時の看護について、**正しいもの**はどれか。

- 1 洗浄液の温度は、40～42℃とする。
- 2 体位は、右側臥位にする。
- 3 洗浄液の1回注入量は、600～700mlとする。
- 4 義歯は取り外す。

問題 66 一時的気道吸引法について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 吸引前に、可能であれば大きな咳をするよう指導する。
- 2 吸引圧は、成人で100～200 mmHg（-13.3～-26.6kPa）に設定する。
- 3 吸引後は、カテーテル内を滅菌蒸留水で洗浄したあと、カテーテルの外側を拭く。
- 4 吸引後は、呼吸を整える援助をおこなう。

問題 67 嚥下困難のある患者の看護について、**正しいもの**はどれか。

- 1 一連の嚥下運動は、口腔期・喉頭期・食道期の3つに分けられる。
- 2 誤嚥時に直ちに咳嗽により喀出を促すことは、肺炎の誘発につながる。
- 3 咀嚼・嚥下能力に応じて、食事内容やとろみをつけるなどの工夫をする。
- 4 食事中は仰臥位にして、誤嚥を防ぐ必要がある。

問題 68 食事療法を受ける患者の看護について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 経口栄養には、おもに経腸栄養と経管栄養がある。
- 2 食事療法を続けるためには、患者会での情報交換が有効である。
- 3 特別治療食は、病態に応じたエネルギー量・栄養素を供給する食事である。
- 4 食事療法においては、必要性の理解と動機づけが重要となる。

問題 69 ショックに陥っている患者の示す徴候として、**正しいもの**はいくつあるか。

- A 血圧低下
- B 頻脈
- C 四肢冷感
- D 呼吸促拍

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問題 70 発熱のある患者について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 高熱とは、40℃以上の熱をいう。
- 2 水分・電解質の補給を促す。
- 3 悪寒を訴えるときは、湯たんぽなどで保温する。
- 4 体温は、日内変動リズムによる個人差がある。

問題 71 全身麻酔法について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 意識の消失・無痛・筋弛緩の消失・有害反射の抑制の4つを達成することが必要である。
- 2 合併症には、悪性高熱症・不整脈などがある。
- 3 プロポフォールは、おもに麻酔の導入および維持に使用する。
- 4 フルストマックの場合は、誤嚥を防ぐことが重要である。

問題 72 経過別看護について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 急性期は、生命の危機的状態をもたらす時期なので、対応は全て医師に任せる。
- 2 回復期・リハビリテーション期には、患者が障害を受容できるように支援する必要がある。
- 3 慢性期の看護の対象には、急性疾患が急性期を経て慢性化した状態にある患者が含まれる。
- 4 終末期には、家族の予期（的）悲嘆に対するケアが必要である。

問題 73 外来および入院時の看護について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 外来看護の目標は、治療や検査など、患者の目的がとげられるよう援助することである。
- 2 インフォームドコンセントとは、治療などに際して医療者がわかりやすく説明し、患者からの同意を得て実施することである。
- 3 退院調整（支援）とは、入院患者が安心して自宅などへ退院するための支援である。
- 4 クリニカルパスでは、患者の状態が変わっても、計画どおりの看護ケアをしなければならない。

問題 74 継続看護について、正しいものはどれか。

- 1 外来から病棟、病棟から病棟のように、一つの医療機関内での看護の継続のみをいう。
- 2 医療者間でおこなわれる患者についての情報提供は、個人情報保護のため口頭のみでおこなう。
- 3 国際看護師協会（ICN）は、「その人にとって必要なケアを、必要なときに、必要なところで、適切な人によって受けるシステムである」と定義している。
- 4 退院計画は、退院日が決まってから作成する。

問題 75 次のうち、誤っているものはどれか。

- 1 生活習慣病は、日常の生活習慣に起因していることが多い。
- 2 寛解期とは、経過の中で、体調変化やコントロールの失敗により症状が再発する時期をいう。
- 3 急性期では、生命を最優先にした治療処置がおこなわれることが多い。
- 4 セルフケア行動の確立には、患者自身が納得して継続できるような支援が必要である。

問題 76 死後の処置について、誤っているものはどれか。

- 1 死の判定は、脳死判定を除いて呼吸停止・心拍(心臓)停止・瞳孔散大(対光反射の消失)の三徴候をもとにおこなわれる。
- 2 迅速に手際よくおこなうために看護職だけでおこなう。
- 3 処置の目的には、病原菌の飛散・感染を予防することが含まれる。
- 4 宗教・慣習などを聞き、希望に添うよう配慮する。

問題 77 青年期の発達の特徴について、正しいものはどれか。

- 1 精神的・社会的特徴は、アイデンティティの確立である。
- 2 肺活量は、20歳代をピークにして低下する。
- 3 明暗の変化に対する視覚の反応が急に減退する。
- 4 ホメオスタシスが低下する。

問題 78 日本の健康問題について、**正しいもの**はどれか。

- 1 「健康日本 21」は、健康づくり対策として策定された。
- 2 2008 年の女性の喫煙者率は、約 40%である。
- 3 2008 年の外来受療率は、男女とも 50 歳代が最も高い。
- 4 2007 年の栄養素別摂取構成割合では、脂質摂取量は減少傾向にある。

問題 79 内分泌・代謝疾患患者について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 副甲状腺機能低下症にみられるテタニー症状は、高カルシウム血症によるものである。
- 2 痛風発作の好発部位は、足の母趾のつけ根（第一中足趾節関節）である。
- 3 尿崩症は、抗利尿ホルモン（ADH）の作用障害による疾患である。
- 4 長期的な経過をたどり自己管理が必要であるため、教育的な支援をおこなう。

問題 80 甲状腺疾患患者の看護について、**正しいもの**はどれか。

- 1 橋本病では、甲状腺腫・頻脈・眼球突出のメルゼブルグの三徴候を観察する。
- 2 血中甲状腺ホルモン濃度測定では、採血時にはヨードを含む食事を禁止する。
- 3 甲状腺ホルモン剤内服中の患者には、自覚症状がなくなれば内服を中止するよう指導する。
- 4 手術後は、反回神経麻痺などの症状を観察する。

問題 81 糖尿病の典型的な症状として、**誤っているもの**はどれか。

- 1 口渇
- 2 多飲
- 3 多尿
- 4 体重増加

問題 82 糖尿病の患者教育について、**誤っているもの**はいくつあるか。

- A 食品交換表では、1単位は80kcalである。
- B インスリンは、腹部の筋肉に注射するよう指導する。
- C 運動療法は、長時間やればやるほど効果がある。
- D 足の清潔や観察、深爪をしないなどフットケアの指導は大切である。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問題 83 低血糖について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 おもに、インスリンまたは経口血糖降下薬の治療患者におこる。
- 2 低血糖時には、意識レベルが低下することがある。
- 3 経口摂取が可能な場合は、ブドウ糖を服用させる。
- 4 クスマウル大呼吸がみられることがある。

●次の**事例**を読み、**問 84**に答えよ。

事例

64歳の男性。病名は慢性閉塞性肺疾患（COPD）で在宅酸素療法中。2日前から呼吸困難が増強し、微熱・咳嗽・去痰困難があり、受診した。動脈血ガス分析の結果では、動脈血酸素分圧（ PaO_2 ）60 mm Hg・動脈血二酸化炭素分圧（ PaCO_2 ）75 mm Hgと、酸素分圧の低下・二酸化炭素分圧の上昇を認めたため、緊急入院した。

問題 84 この患者の看護について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 起座位など、患者にとって最も楽な姿勢をとらせる。
- 2 痰が粘稠な場合は、水分を十分に摂るよう援助する。
- 3 できるだけ高濃度の酸素を投与する。
- 4 なるべくそばに付き添い、患者の不安・恐怖の軽減に努める。

問題 85 心臓カテーテル検査の看護について、**正しいもの**はどれか。

- 1 カテーテル挿入時は、一般的に座位でおこなう。
- 2 検査中は、モニター観察など全身状態の観察をおこなう。
- 3 帰室後すぐに、穿刺部の固定をはずして出血の有無を確認する。
- 4 検査後、造影剤は腎臓から排出されるため、水分摂取は控える。

問題 86 結核について、**正しいもの**はいくつあるか。

- A 日本の活動性肺結核の罹患率は、2000年以降増加傾向にある。
- B 結核の感染は、飛沫核に含まれる結核菌を吸入しておこる。
- C 結核菌を含む飛沫に暴露されると、必ず発病する。
- D 患者にマスクをさせることは、痰のしぶきが飛散するのを少なくする点で有用である。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問題 87 血液・造血器疾患患者の看護について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 鼻出血時は綿球を挿入し、鼻翼を指で押さえて止血する。
- 2 貧血時は、室温の調整や四肢の保温をおこなう。
- 3 白血球数 $1,000/\mu\text{l}$ 以下が続くときには、面会を制限する。
- 4 化学療法後 2～3 日で骨髄抑制がピークとなるため、感染に注意する。

問題 88 不整脈について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 不整脈とは、正常洞調律（60～100/分）から逸脱したものをいう。
- 2 WPW症候群は、徐脈性不整脈である。
- 3 上室（性）頻拍は、頻脈性不整脈である。
- 4 房室ブロックは、徐脈性不整脈である。

問題 89 生活習慣病について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 初期には、自覚症状がほとんどなく、病気に気づきにくい。
- 2 慢性疾患である。
- 3 食生活を改善するだけで、完治が望める疾患である。
- 4 特定健康診査の結果、生活習慣病のリスク要因が多い者に対して、特定保健指導がおこなわれる。

問題 90 関節リウマチの症状として、**誤っているもの**はどれか。

- 1 朝のこわばり
- 2 中枢神経障害
- 3 全身倦怠・発熱
- 4 多発する関節の腫脹

問題 91 アナフィラキシー反応について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 IgE が関与している。
- 2 ヒスタミンが放出される。
- 3 ショック状態になることがある。
- 4 II型アレルギーである。

問題 92 無月経に関係するものとして、**誤っているもの**はどれか。

- 1 視床下部
- 2 卵巣
- 3 卵管
- 4 子宮

問題 93 更年期の不定愁訴として、**誤っているもの**はどれか。

- 1 めまい
- 2 不眠
- 3 幻覚
- 4 肩こり

問題 94 心筋梗塞患者の急性期の看護として、**誤っているもの**はどれか。

- 1 患者に対して状況にあわせた声かけをおこない、不安・恐怖の緩和を図る。
- 2 致死的不整脈出現の可能性があるので、心電図のモニター観察が重要である。
- 3 身体機能の低下を防ぐため、発症直後から積極的に ADL の拡大を進める。
- 4 胸痛の部位・程度・持続時間を観察する。

●次の**事例**を読み、**問 95、96**に答えよ。

事例

60歳の女性。2年前に急性心筋梗塞を発症し、退院後は近医で経過観察を受けていた。半年前から、掃除などで連続して体を動かすと息切れがみられるようになった。本日、10時頃に家族とともに来院した。本人によれば「近医で心不全といわれていた。昨日午後から、息切れがひどくトイレへ行くのも大変になった。日によってむくみがあり足がだるい。でも、じっとしていれば大丈夫。排尿は昨夜9時頃が最後で、今まで出ていない。足が冷える。」とのことである。入院後、酸素療法とジゴキシンなどの薬物療法が開始された。

問題 95 入院時の状態のアセスメントについて、**正しいもの**はどれか。

- 1 ニューヨーク心臓協会（NYHA）心機能分類では、IV度に分類される。
- 2 昨日から本日にかけての食事・水分摂取状況について、具体的な情報を収集する。
- 3 本人の苦痛を軽減するため、症状観察は心臓・血管系の症状にとどめる。
- 4 心不全による呼吸困難なので、喀痰や喘鳴の観察は不要である。

問題 96 入院時の療養環境の整備について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 褥瘡予防のため、体圧分散マットレスを準備した。
- 2 床上安静を保つため、オーバーテーブルはベッドサイドから片づけた。
- 3 床上排泄の可能性を考え、ベッドに横シーツを敷いた。
- 4 湯たんぽを使うときは、低温熱傷に注意した。

問題 97 脳梗塞について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 脳血流が阻害されて、脳の壊死と機能障害がおこる。
- 2 成因により脳血栓・脳塞栓・ラクナ梗塞などに分けられる。
- 3 MR Iは、診断と治療方針の決定に有用である。
- 4 発症後5時間以降で、組織プラスミノゲンアクチベーター（t-PA）の投与が可能になる。

問題 98 急性硬膜外血腫について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 症状の経過として、意識清明期がみられるものもある。
- 2 硬膜動脈や硬膜静脈洞が損傷している。
- 3 治療として、開頭血腫除去術がある。
- 4 脳と硬膜の間に血腫を生じる。

問題 99 多発性硬化症について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 脳や脊髄などの中枢神経系におこる代表的な脱髄疾患である。
- 2 寛解と増悪をくり返す。
- 3 男性に多くみられる。
- 4 病因は不明だが、免疫機序による髄鞘の破壊が推定されている。

問題 100 膀胱腫瘍について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 表在性腫瘍の治療として、経尿道的切除術がある。
- 2 高齢者の女性に多い。
- 3 無症候性血尿がみられる。
- 4 膀胱全摘出後には、尿路変向（更）術もおこなわれる。

問題 101 慢性糸球体腎炎について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 大部分は発症時期が不明で、潜在性に発症する。
- 2 食事療法を継続していけるように支援する。
- 3 IgA 腎症は、約 90%の症例が末期腎不全となる。
- 4 糸球体病変の組織型によって、臨床像に特徴がある。

問題 102 尿路感染症について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 尿の通過障害に関連する尿路感染症を複雑性尿路感染症という。
- 2 おもにグラム陰性杆菌が原因となる。
- 3 クラミジア感染による尿道炎もある。
- 4 乏尿は、急性膀胱炎のおもな症状である。

問題 103 感染症の分類の組み合わせとして、**正しいもの**はどれか。

- 1 1類感染症 —— コレラ
- 2 2類感染症 —— 細菌性赤痢
- 3 3類感染症 —— 腸チフス
- 4 5類感染症 —— マラリア

問題 104 ワクチンについて、**誤っているもの**はどれか。

- 1 生ワクチンは、弱毒化した病原体を免疫原としたものである。
- 2 不活化ワクチンは、細菌やウイルスなどの病原体を殺して製造したものである。
- 3 トキソイドワクチンは、細菌の免疫原性を無くしたものである。
- 4 混合ワクチンは、複数の異なる病原体のワクチンを混合したものである。

問題 105 口腔疾患患者の看護について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 器具類の取り扱いや手洗いなど感染予防に留意する。
- 2 矯正治療中は、特に口腔清掃を心がけるよう指導する。
- 3 歯周病患者の口腔ケアでは、含嗽のみおこなうよう指導する。
- 4 治療時は、患者の顔色・末梢循環・筋緊張など全身の観察に努める。

問題 106 変形性膝関節症について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 肥満傾向にある女性に多い。
- 2 術後の合併症として、深部静脈血栓症・感染・腓骨神経麻痺などがある。
- 3 炎症の有無にかかわらず、積極的に膝を冷やす。
- 4 疼痛や安静により充足されない生活動作に対して援助する。

問題 107 関節リウマチについて、**誤っているもの**はどれか。

- 1 20～50 歳代の男性に多く発症する。
- 2 赤血球沈降速度は亢進する。
- 3 患者の血清や関節液にリウマチ因子が証明される。
- 4 関節の動きを保持するために温浴中の運動をすすめる。

問題 108 上部消化管内視鏡検査を受ける患者への説明について、**正しいもの**はどれか。

- 1 「前日の昼食から絶飲食になります。」
- 2 「前処置のために、当日の朝は浣腸をおこないます。」
- 3 「検査時に、胃液の分泌をおさえる薬の注射をおこないます。」
- 4 「検査終了後は、2時間の臥床安静が必要です。」

問題 109 単純性イレウスについて、**正しいもの**はどれか。

- 1 激しい腹痛で始まって、ショック症状を伴うのが特徴である。
- 2 治療は、手術が第一選択である。
- 3 腸管の血行障害を伴わない。
- 4 腹部聴診で腸蠕動音は、ほとんど聴取されない。

問題 110 慢性副鼻腔炎手術患者の看護について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 手術後は、口腔内が乾燥しやすいため含嗽を促す。
- 2 咽頭への血液は、飲み込まないように説明する。
- 3 手術後は、鼻をかまないように説明する。
- 4 鼻栓用の綿球は、頻回に交換しないように説明する。

問題 111 白内障手術を受ける患者の看護について、**正しいもの**はどれか。

- 1 術後の観察は、特に必要としない。
- 2 手術後の体位は、腹臥位やうつむき姿勢をとる。
- 3 洗顔は、手術翌日より可能である。
- 4 手術後は、確実に点眼がおこなえるよう早期に指導する。

問題 112 外用療法について、**正しいもの**はどれか。

- 1 ステロイド外用薬による局所的な副作用には、口囲皮膚炎がある。
- 2 シャワー浴や入浴をする場合は、外用薬を塗布した部分を洗ってはいけない。
- 3 油脂性軟膏は、刺激が強い。
- 4 乾燥した皮膚への尿素製剤の使用は避ける。

問題 113 次のうち、**正しいもの**はどれか。

- 1 「日本の将来推計人口(2006年12月推計)」によると、総人口は、2015年には1億人を下回ると予想されている。
- 2 2010年の国勢調査における高齢化率は、約10%である。
- 3 WHO(世界保健機構)の定める基準では、60歳以上を高齢者としている。
- 4 日本の少子化の原因として、晩婚化・未婚化などがあげられる。

問題 114 次のうち、**誤っているもの**はどれか。

- 1 現在は、老人保健法に基づき保健医療サービスを提供している。
- 2 75歳以上の高齢者を後期高齢者と区分している。
- 3 高齢者の医療費は、国民医療費の増大に影響している。
- 4 日本では、今後さらに認知症高齢者が増加すると推測されている。

問題 115 高齢者の褥瘡予防について、**正しいもの**はいくつあるか。

- A 適切な体位変換をおこなう。
- B 栄養管理が必要である。
- C 定期的なリスクアセスメントを継続する。
- D 摩擦を避ける。

- 1 一つ
- 2 二つ
- 3 三つ
- 4 四つ

問題 116 高齢者の排尿について、**正しいもの**はどれか。

- 1 高齢者は、成人よりも多くの尿を貯留することができる。
- 2 前立腺肥大症は、尿失禁の原因となる。
- 3 頻尿であれば、尿失禁と考えてよい。
- 4 脳血管障害の後遺症では、腹圧性尿失禁がみられることが多い。

問題 117 認知症について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 臨床症状は、大きく中核症状と周辺症状に分けられる。
- 2 すべての認知症は、脳血管性とアルツハイマー型の2つに分けられる。
- 3 脳血管性認知症では、認知症以外の随伴症状がみられることが多い。
- 4 脳血管性認知症は、脳循環障害によっておこる認知症である。

問題 118 慢性閉塞性肺疾患（COPD）について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 重症になると呼吸不全に至る。
- 2 患者や家族に対する日常生活管理の指導が必要である。
- 3 インフルエンザ感染により悪化することはまれである。
- 4 慢性気管支炎は、原因となる病態のひとつである。

問題 119 廃用症候群の看護について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 筋力の低下を予防する。
- 2 精神的な刺激を与えないように、家族との面会は最小限にする。
- 3 口腔ケアは、肺炎予防に重要である。
- 4 起立性低血圧に考慮したケアをおこなう。

問題 120 高齢者の便秘の援助について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 腸の蠕動運動が低下しているため、腹部マッサージをおこなう。
- 2 生理的な反応を利用した規則的な排便習慣をつける。
- 3 腹圧を加えやすいように、体位を工夫する。
- 4 消化能力が低下しているため、高繊維食は避ける。

問題 121 高齢者の身体的特徴について、**正しいもの**はどれか。

- 1 咀嚼機能が低下する。
- 2 腎血液量が増加する。
- 3 細胞内液が増加する。
- 4 高音域に比べて低音域の聴力低下が著しい。

問題 122 高齢者の心理的・精神的機能の特徴について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 言語能力に著しい低下がみられる。
- 2 学習の効率は低下する。
- 3 老化や社会的役割の変化に伴い、不安や抑うつが引き起こされやすい。
- 4 心身の不調や親しい人との離別などが、老いの自覚につながる。

問題 123 高齢者の転倒予防について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 できる限り段差をなくす。
- 2 床に障害物を置かない。
- 3 安全のため、入院中はなるべく歩かせないようにする。
- 4 照明を明るくする。

問題 124 高齢者の皮膚の特徴について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 薄く傷つきやすい。
- 2 痛みや熱さへの感覚が鈍くなる。
- 3 癢痒症がおこりやすい。
- 4 皮脂の分泌が亢進する。

問題 125 脱水の予防について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 患者の自立性を尊重し、水分摂取は本人に任せる。
- 2 口腔内の乾燥状態を観察する。
- 3 尿量を観察することは、脱水の早期発見につながる。
- 4 飲みやすい入れ物を準備する。

問題 126 検査を受ける高齢者に対する看護について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 不安を高めるので、検査のオリエンテーションでは具体的な説明はおこなわない。
- 2 前処置などで状態変化をきたすことがあるので、全身状態の観察を十分におこなう。
- 3 検査室では、検査台からの転落や移動時の転倒に注意する。
- 4 検査に影響がない範囲で、安楽な体位の工夫が大切である。

問題 127 母子保健について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 妊娠した者は、市町村から母子健康手帳が交付される。
- 2 周産期死亡とは、妊娠 22 週以降の死産と生後 4 週未満の新生児死亡を合わせたものをいう。
- 3 出生時の体重が 2,500 g 未満の児を低出生体重児という。
- 4 乳児死亡率は、出生数 1,000 に対してあらわしたものである。

問題 128 次のうち、**誤っているもの**はどれか。

- 1 プロゲステロンは、子宮内膜を増殖させる。
- 2 女性の尿道は短いため、膀胱炎をおこしやすい。
- 3 女性は腹腔が体外（外陰部）とつながっているため、性器や骨盤腔の炎症をおこしやすい。
- 4 不妊症の女性側の原因として、卵管障害・排卵障害などがある。

問題 129 妊娠による母体の変化として、**誤っているもの**はどれか。

- 1 下痢
- 2 循環血液量の増加
- 3 頻尿
- 4 基礎代謝亢進

問題 130 正常に経過している褥婦の看護について、**正しいもの**はどれか。

- 1 分娩後、24 時間は安静を保つ。
- 2 産褥とは、一般的には分娩後 4 週間とされている。
- 3 産褥体操は、産後 3 日目以降に開始する。
- 4 出産後、なるべく早く授乳を開始する。

問題 131 次のうち、**正しいもの**はどれか。

- 1 羊水過多症は、羊水が 300ml 以上をいう。
- 2 妊娠糖尿病の場合は、母体の合併症や児の異常はおこりにくい。
- 3 前置胎盤は、妊娠後半期になると異常出血をおこすことが多い。
- 4 分娩時出血多量とは、分娩から産褥 2 時間までに 300ml 以上の出血を認める場合をいう。

問題 132 次のうち、**誤っているもの**はどれか。

- 1 妊娠悪阻のある人には、精神面への支援が大切である。
- 2 妊娠中の貧血のほとんどは、鉄欠乏性貧血である。
- 3 正常な妊娠の持続期間は、最終月経から満 260 日である。
- 4 妊娠中の服薬については、細心の注意が必要である。

問題 133 母子保健法に基づく保健対策として、**正しいもの**の組み合わせはどれか。

- | | |
|---|---------------|
| A | 3 歳児健康診査 |
| B | 予防接種 |
| C | 妊産婦健康診査 |
| D | 肢体不自由児の自立支援医療 |
-
- 1 A、B
 - 2 A、C
 - 3 B、C
 - 4 C、D

問題 134 新生児の原始反射について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 吸啜反射は、口腔内に入ったものを吸啜することである。
- 2 把握反射は、手掌を押すと強く握ることである。
- 3 バビンスキー反射は、児の頭と上体を起こして急に降ろすと、最初に四肢を伸展し、次に抱きつくような動作をすることである。
- 4 緊張性頸反射は、頭を一方に向けると同側の上肢を伸展し、反対側は屈曲させフェンシングの様な格好をすることである。

問題 135 乳幼児の身体計測について、**正しいもの**はどれか。

- 1 体重測定値は、授乳や食事に影響されない。
- 2 身長測定は、一般的に2歳までは側臥位でメジャーを用いて測る。
- 3 頭囲測定は、前頭結節と後頭結節を結ぶ周囲を測る。
- 4 腹囲測定は、立位にしてベルトの位置で測る。

問題 136 ファロー四徴症について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 心室中隔欠損・肺動脈狭窄・右室肥大・大動脈騎乗の四徴を特徴とする。
- 2 啼泣すると増悪する。
- 3 無酸素発作時には、膝胸位をとらせる。
- 4 無チアノーゼ性心疾患である。

●次の**事例**を読み、**問 137、138**に答えよ。

事例

4歳の男児。3～4日前から活気がなく、眼瞼と下腿の浮腫に母親が気づき来院した。血液検査の結果、総蛋白3.7g/dl・アルブミン2.1g/dl・総コレステロール280 mg/dl・尿たんぱく3.5g/日で、ネフローゼ症候群と診断され入院した。入院時体重18.0 kg・尿量300ml/日・尿素窒素12 mg/dl。副腎皮質ステロイド薬の内服を開始した。

問題 137 入院時の看護について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 食事は、水分・塩分を制限する。
- 2 体重の増減を観察する。
- 3 プレイルームで自由に遊ばせる。
- 4 感染予防に努める。

問題 138 副腎皮質ステロイド療法について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 服用を嫌がる時は、次回服用時に2回分飲ませる。
- 2 副作用として、ムーンフェイス・多毛などがみられる。
- 3 風邪をひいている人の面会は、制限する。
- 4 長期の服用では、骨粗鬆症の危険性もある。

問題 139 防衛機制について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 防衛機制とは、内的な欲求充足と外界への適応の間での葛藤を調整する自我機能をいう。
- 2 置き換えとは、本来の対象に向けるべき感情を別のものに向けることである。
- 3 防衛機制は、特殊な能力でふだんからの訓練が必要である。
- 4 反動形成とは、強い憎しみを感じているのに、過度に親切にしたりすることである。

問題 140 無為・自閉状態のある患者の特徴と看護について、**正しいもの**はどれか。

- 1 無気力で何もせず、外界との接触を避けている状態をいう。
- 2 作業療法やレクリエーションには、積極的に参加させる。
- 3 洗面・入浴などの清潔に対する認識は高い。
- 4 患者の内的体験世界から、無理をしてでも現実に戻すことが大切である。

問題 141 電気けいれん（電気ショック）療法の適応となる疾患として、**正しいもの**はどれか。

- 1 うつ病
- 2 アルコール依存症
- 3 人格障害
- 4 摂食障害

問題 142 境界性人格障害患者の注意を必要とする行動として、**正しいもの**はどれか。

- 1 自己実現
- 2 意欲減退
- 3 適応行動
- 4 衝動行為

問題 143 脳波診断で異常所見が見られる疾患として、**正しいもの**はどれか。

- 1 統合失調症
- 2 てんかん
- 3 うつ病
- 4 強迫性障害

問題 144 悪性症候群の特徴として、**正しいもの**はどれか。

- 1 徐脈
- 2 C P K (C K) 値の低下
- 3 発熱
- 4 筋弛緩

●次の**事例**を読み、**問 145、146**に答えよ。

事例

32歳の男性。統合失調症により、18歳の初発からこれまで数回の入退院を繰り返してきた。最近、家族と同居しているため定期的に通院も可能で、病状も安定していた。10日前に、友人と旅行に出かけたことで服薬が滞り、帰宅後から独語がはじまり、セルフケアも徐々に低下してきた。3日前から家族に暴言を吐くようになった。また、「変なおいがする」と食事もとらず服薬もしなくなった。昨日の午後、家族に伴われて救急外来を受診し、即日入院となった。入院時はかなりの精神運動興奮と強い被害妄想が認められたため、保護室にて行動制限せざるを得ない状況であった。

問題 145 行動制限における留意点について、**正しいもの**はどれか。

- 1 緊急時におこなわれることが多いので、患者に知らせる必要はない。
- 2 緊急を要するので、看護職の判断で保護室を使用してもよい。
- 3 保護室を使用している間は、自殺や自傷行為への注意が必要である。
- 4 患者を刺激するので、保護室内の環境整備はしないほうがよい。

問題 146 この患者の急性期における看護について、**正しいもの**はどれか。

- 1 食事は、無理強いせず気長にすすめる。
- 2 保護室に入っているので、頻回な観察はいらない。
- 3 社会適応の目的で、積極的にリハビリテーションをおこなう。
- 4 信頼関係は、保護室を出てから構築する。

問題 147 抗不安薬の副作用として、**誤っているもの**はどれか。

- 1 集中力の低下
- 2 運動失調
- 3 静座不能症（アカシジア）
- 4 健忘

問題 148 精神症状に対する看護について、**適切でないもの**はどれか。

- 1 興奮状態にある患者に対しては、光や音などの刺激を最小限にする。
- 2 幻聴のある患者に対しては、その内容について詳細に尋ねる。
- 3 希死念慮のある患者に対しては、医療者間で連携をはかり自殺を予防する。
- 4 陰性症状のある患者に対しては、生活能力が身につくように根気よく接する。

問題 149 精神看護について、**正しいもの**はどれか。

- 1 私物の購入としての代理行為は、単に物を買うことが目的となる。
- 2 作業療法では、業務の効率性を重視する。
- 3 レクリエーションは、患者の対人関係の方法を観察することができる。
- 4 治療的環境とは、建物と設備のようなハードウェアのみをいう。

問題 150 精神看護について、**誤っているもの**はどれか。

- 1 患者の生活史から自我の成熟レベルを判断する。
- 2 言動の観察をすれば、バイタルサインなどの身体面の観察はしなくてもよい。
- 3 発病による日常生活行動の障害の程度を観察する。
- 4 固定観念を排除してかかわる。